

報道資料

平成26年11月23日
奈良県立医科大学財産管理課
嶋・田中
TEL 0744-22-3051(内線 2281・2282)

奈良県立医科大学附属病院での悪臭について（中間報告）

平成26年11月21日（金）14時45分頃、奈良県立医科大学附属病院の湧水ピット（B棟地下埋設）内から、硫化水素ガスが発生していることが判明しました。

病院内へのガス漏れ、人的被害、物的被害は、発生していません。

万全を期し、ガス発生の判明後、直ちに橿原消防署に出動を要請のうえ、ガス発生エリアを封鎖し、発生エリア周辺を立ち入り禁止区域に設定し、患者様、職員の安全を確保しています。

あわせて、立ち入り禁止区域内にある救命センター受付及び救急外来診察室を移設し、患者様にご不便をかけないように対応してます。

11月22日（土）午前3時以降、立入禁止区域の7ポイントにおいて、定期的にガス濃度を測定していますが、現時点（11月23日（日）17時）までに、ガスは検知されていません。

なお、原因については調査中で、今後の対応についても、併せて検討中です。



奈良県立医科大学・附属病院 配置図

26. 5. 1 現在